

地域ケア推進会議 報告書

【医療・介護連携に関する場合のみ】

提出日	2026年7月10日
作成 高齢者支援センター	堺第1
作成者	鶴田・橋本・曲田

1.開催日時	2026年6月25日	(木)	10:00	～	12:00
2.会場	武蔵岡団地第1集会場				
3.主催センター	堺1				
4.参加人数	32人				
5.参加者内訳	☒ 高齢者支援センター 3人 ☒ 医療と介護の連携支援センター 2人				
	☒ 医療関係者 1人 (うち、医師 1人) ☒ 介護事業者 9人				
	☒ 民生委員 1人 ☐ 老人会 人 ☒ 住民 4人				
	☒ 町内会自治会 1人 ☒ 警察 1人 ☒ 行政 3人				
	☒ その他 (市議会議員2人・障がい者支援センター2人・社協2人・全域SC1人)				
6.開催テーマ	武蔵岡団地における支援困難ケース				
7.地域課題	(1)課題設定の背景 近年、都心部から生活保護世帯や刑余者、精神疾患を抱える方など、特別な支援を要する住民の都営武蔵岡団地への転入が増加している。これに伴い、診療所や地域住民、民生委員等から当センターへ相談が寄せられ、対応が難しいケースが相次いで発生している。 (2)検討した地域課題 精神疾患、認知症、8050問題、経済困窮、孤立等の複合的課題を抱える住民の相談が増加しているが、本人が制度利用や支援を拒否する事例も多く、支援機関による介入が困難な状況が生じている。加えて、制度が分野別に分かれていることから、個別機関のみでは対応が難しくなっている。				
8.医療と介護の連携に関する課題	特に精神疾患に関しては、未受診や精神的ハンディを負った人たちでどの機関も関わりのないケースが多発している。				
9.会議の内容	次第に沿って会議を実施。 ・武蔵岡団地における支援困難ケース事例について、武蔵岡団地の現状について、(大戸駐在所 鈴木警部補より・武蔵岡自治会 渡代会長より)現状を共有 ・グループワーク(武蔵岡団地における課題と対応策について) 武蔵岡団地で起きている問題について参加者で共有。身寄りのない独居高齢者や精神疾患の方、高齢の親と障がいがある子どもの二人暮らしなど多問題ケースについて意見交換。近年度々都心や他県より生活保護受給者や精神疾患のある方が転入が増加。それに伴い転入者の方が起こすトラブルが増加し、地元住民や支援者がその都度トラブルの対応に多くの時間や労力を割かれる状況が続いている。武蔵岡団地の空きが多く、入居条件も他の都営よりも入りやすいのが原因ではないか、との意見あり。				
10.課題に対する対応策・今後の地域での展開	今回不参加ではあったが、JKKにも話し合いに参加していただき、現状を理解してもらう必要がある。具体的な解決策はないが、課題を一人で抱え込むことなく、地域の関係機関や関係者、住民と情報を共有し、それぞれの専門性や役割を活かしながら連携して対応すること、また支援者が健康であることが大切であることを参加者で共有した。 今回の地域ケア推進会議をきっかけに、都議主催で、団地集会所にて東京都、JKK他関係者が集まり、現状について報告できることになった。今回の地域ケア推進会議で共有・協議した内容について改めて報告する予定としている。				
11.その他					

医療と介護の連携支援センター 確認日	7月9日
--------------------	------